
(あなたに質問です) 教えてください。

目の前に子供が河で溺れかけています。まわりにはあなたしかいません。あなたはその子を助けますか？

衝撃！目の前のすべての生命が 36 年後に消える？！

野生生物種の絶滅は、1900年時点で1年1種ペースでした。それが、1980年以降は1年で4万種以上のペースに加速しています。

恐竜時代	0.001 種/年
10000 年前	0.01 種/年
1000 年前	0.1 種/年
100 年前	1 種/年
20 年前	1,000 種/年
現在	40,000 種/年

過去に大量の生物が絶滅したことが5回あったのがわかっている。それらは大絶滅と呼ばれ、オルドビス期、デボン期、二畳期、三畳期、白亜期に起こっている。特に、2億5000万年前の二畳期には90%の生物種が、また6500万年前の白亜期には恐竜など75%が絶滅した。ただし、これらの絶滅は数万年かかって徐々に進行した。ところが現在は、過去のどの時期よりも急激な大絶滅が始まっている。上のデータをご覧ください。この数字は、例えば、恐竜時代は年間0.001種、つまり1000年で1種が絶滅したということを表している。これを見ると、現在は1年当たり恐竜時代(白亜期)の4000万倍という猛烈な速さで生物種が絶滅していることがわかる。100年前と比べても4万倍もの猛スピードである。恐竜時代などは、天変地異(隕石落下など諸説がある)によって多くの種が消えたといわれているが、この場合でも数万年かかって絶滅が進行したのである。現代は特定の種だけでなく、広範囲でしかもごっそりと種が失われている。

 絶滅の big five

1. オルドビス紀末	(3 億 7000 万年前)	
2. デボン紀末	(4 億 4000 万年前)	
3. 二畳紀末	(2 億 5000 万年前)	
4. 三畳期後期	(2 億 500 万年前)	アンモナイト類
5. 白亜期	(7000 万年前)	恐竜が絶滅

種の数

リンネが地球上の生物の分類をはじめてから 230 年 140 万種が確認

昆虫類	751,000
植物	250,000
節足動物・小型無脊椎動物 (昆虫類, 甲殻類を除く節足動物)	132,461
軟体動物	50,000
菌類	46,983
魚類	19,000
哺乳類	4,000
合計	1,435,662

(生物の多様性を守る国際自然保護連合 1991)

すでに両生類が激減

(MSN-Mainichi INTERACTIVE H16.10.15) によると、「世界の両生類の 3 割強が絶滅」。世界自然保護連合 (IUCN) の研究チームの調査で初めて分かった。調査は、世界約 60 カ国の約 520 人の研究報告などを基にしており、これまでに確認されている両生類 5743 種のうち、1856 種 (約 32%) が IUCN のレッドリストの「ごく近い将来絶滅の危険性が極めて高い種 (絶滅危惧種 I A 類、2 類)」に相当し、絶滅の危機が判明した。

両生類・蛙とは脊椎動物門両生綱に属する動物の総称。普通、幼生時には水中で鰓 (えら) 呼吸し、変態後は肺呼吸をする。心臓は二心房一心室。羊膜を欠き、体表には皮腺が発達し、一般に鱗 (うろこ)・毛・羽毛がない。変温動物。

卵生または卵胎生で、多くは水中に産卵する。海産種はいない。現生種は有尾目 (イモリ・サンショウウオ)・無尾目 (カエル)・無足目 (アシナシイモリ) の三目に分類され、全世界に約三千種がある。

有尾類	サンショウウオ, イモリ	
無足類	アシナシイモリ	
無尾類	カエル	3960 種

同リストで同じように分類されている割合は、鳥類が 12%、ほ乳類が 23%。

温室効果だけを考慮した楽観的なデータでも、国際調査報告
「地球温暖化で 2050 年までに全生物種の 4 分の 1 が絶滅」

Kristen Philipkoski 2004 年 1 月 7 日

研究者たちが世界の 6 つの地域について調べたところ、温室効果ガスの排出量を大幅に削減しなければ、地球上に存在する全動植物種の 4 分の 1 が 2050 年までに絶滅するという結果が出た。この研究は、南アフリカ、ブラジル、ヨーロッパ、オーストラリア、メキシコ、コスタリカに生息する植物、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類の 1103 種が地球温暖化から受ける影響を銅壺したもの。コンピューター・シミュレーションの結果、気候変動に適応できるかも

しれない生物種もいるものの、多くの生物種が温暖化の影響で絶滅することが判明したのだ。今回の論文の筆頭執筆者であるイギリスのリーズ大学のクリス・トーマス教授(保全生物学)は、自動車や工場から排出される温室効果ガスによって、地上の温度は 1000 万年前～現存する生物種の大半がまだ出現していなかったころ～よりも高くなる可能性がある」と述べる。研究者たちによると、地球温暖化がもたらす被害は、恐竜が 6500 万年前に地上から姿を消したときに匹敵する恐れがあるという。

論文執筆者の 1 人、アリソン・キャメロン博士は「世界の大部分が不毛の土地になる可能性は十分ある。少なくとも、生物の多様性は劇的に減少するだろう」と語る。トーマス教らの論文は『ネイチャー』誌に掲載されている。

生物は一般にかなりゆっくりとしたペースで進化するが、地球の気候変動は非常に急速なため、この変化に適応できない生物種も少なくなさそうだとキャメロン博士は言う。

国際連合は今回の論文について、全世界が定盤議定書を採用すべきだということを示すこれまで以上に強力な証拠だとコメントしている。京都議定書は、人間による環境汚染が引き起こす温度上昇を食い止めることを目指しているが、ジョージ・W・ブッシュ米大統領は 2001 年に議定書への署名を拒否している。

京都議定書は上位の汚染国に含まれる中国やインドが対象とされていないため、「欠陥」があり「非現実的」だというのがブッシュ大統領の言い分だ。

トーマス教授は次のようなメールを寄せている。「先進諸国は他の国に比べ、1 人当たりの(二酸化炭素)排出量のはるかに多い。なかでも米国はトップを走っている。これらの国々が率先して行動を起こす必要がある。実質的には、絶滅を輸出しているようなものだ」トーマス教授はさらに、先進国には大気汚染の防止に役立つ技術-たとえば炭素隔離技術など-を開発する大きな責任があると述べている。研究者たちによると、地球温暖化は地球上の生物種にとって最新の脅威であり、そのほかにも熱帯雨林など特定の環境が破壊される問題がすでに存在するという。論文執筆者の 1 人、『コンサベーション・インターナショナル』(本部ワシントン DC)のリー・ハンナ氏は「生息地の減少と気候変動が組み合わさることがとくに心配だ」と話す。最大の危機に直面している生物種には、アマゾンに生息する数種の樹木、南アフリカの国花キングプロテアとその仲間、スペインのカタシロワシ、オーストラリアのポイド・フォレストドラゴン[キノボリカゲの 1 種]などがある。スコットランドのイスカなど数種の鳥は、アイスランドに渡ることができれば生き残れるかもしれない。

トーマス教授は、世界の指導者の大多数は何かしら行動起こす必要があるという共通認識を持っていると話す。1 つの取り組みに対して各国の同意を得るにはあまりにも時間がかかる点を懸念している。その間も、環境はダメージを受けつづける。「問題は、各国が持つ独自の偏狭な要求が互いに衝突するため、一致団結した行動が往々にして行き詰ってしまうことだ。だからといって、方向転換しないのはリスクが大きすぎる。予防原則を適用するのなら、今すぐ方向転換を行なうべきだ」とトーマス教授は述べた。



お母さんは子どもたちに野生動物と自然の現状を教えてください

私たちが地球と自分を守りたいと思ったら、身近なところからスタートして下さい。
まず、地球が危機的であるという現実を受け止めてください。

次にぜひ現状を子どもと孫たちに教えてください。

最後に、化学的な汚染物質をできるだけ生活から遠ざけて欲しい。

参考文献

[] ウォルター・ミラー,	生物の保護は何故必要か,	ダイヤモンド社
[] 世界自然保護連合,	世界の生物の多様性を守る,	日本自然保護協会
[] エドワード・ウィルソン,	生命の多様性,上下,	岩波書店
[] 樋口広芳,	保全生物学,	東京大学出版会
[] 岩槻邦男	,多様性の生物学,	岩波書店
[] ポールエリック他,	絶滅の行方,	新曜社
[] デイビッド・ラウブ,	大絶滅,	平川出版社
[] レス・カウフマン,	最後の絶滅,	地人書房
[] 地球の将来を守るために(ブルントラント委員会報告),		福武書店
[] 世界資源研究所,	世界の資源と環境 1996-97,	中央法規
[] 国連食糧農業機関(FAO)森林資源評価プロジェクト報告書 1995		
[] メイサー,	世界の森林資源,	築地書館
[] タングレイ,	生命の樹,	岩波書店
[] ウェストビー,	森と人間の歴史,	築地書館

結論:

地球と自分を守るためにできる3つの方法

- まず、地球が危機的であるという現実を受け止める。
- 次に、地球の危機的な現状を子どもと孫たちに教える。
- 最後に、化学的な汚染物質をできるだけ生活から遠ざける。

世の中に役に立とうという良心を持つ。